

特別シンポジウム Special Symposia

3月27日（金） 10:00～11:50 A会場 国立京都国際会館2F Room A

特別シンポジウムCS1

理事会企画シンポジウム「薬学界の展望」
Prospect of the Pharmaceutical Society

オーガナイザー：前田 稔、小林 進

10:00～10:05	開催にあたって	九大院薬 前田 稔
10:05～10:30 CS1-1	新薬学教育制度における教育と研究のあり方	京大院薬 赤池 昭紀
10:30～10:55 CS1-2	薬学における研究と薬剤師教育・現状と問題点そして将来？	星薬大 本多 利雄
10:55～11:20 CS1-3	製薬企業における薬学部人材の採用と活用	第一三共 野々瀬 恭平
11:20～11:45 CS1-4	「学士力」を考える	帝京大薬 井上 圭三
11:45～11:50	閉会挨拶	東京理科大薬 小林 進

3月28日（土） 10:00～12:00 T会場 国立京都国際会館1F アネックスホール2

特別シンポジウムCS2

日米薬学会合同シンポジウム：創薬の新しい流れ
PSJ-AAPS Joint Symposium: New Trends of Medicinal Chemistry

オーガナイザー：Nicholas BODOR、佐々木 茂貴

10:00～10:05	Opening Remarks	Center for Drug Discovery, University of Florida Nicholas BODOR
10:05～10:30 CS2-1	Retrometabolic Drug Design: Principles and Recent Advances	Center for Drug Discovery, University of Florida Nicholas BODOR
10:30～10:55 CS2-2	Chemical Approaches to a Novel Natural Product Pladienolide	Eisai Co, Ltd. Tsukuba Research Laboratories Yoshihiko KOTAKE
10:55～11:00	Break	

11:00 ~ 11:25

CS2-3

Role of Molecular Size in Determining Pharmaceutically Relevant Properties: Linear and Bilinear Models

Diabetes Research Institute, University of Miami Peter BUCHWALD

11:25 ~ 11:50

CS2-4

Defying Difficult Diseases: Design and Synthesis of Protease Inhibitors, Prodrug Forms and Click Peptides

Kyoto Pharmaceutical University Yoshiaki KISO

11:50 ~ 12:00

Discussion and Closing Remarks

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University Shigeki SASAKI

スポンサードシンポジウム Sponsored Symposia

3月27日（金） 9:00～12:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

スポンサードシンポジウム SS1

味覚と健康 ～和食をヒントに高齢者の摂食機能改善を考える～

Taste and Health: New Frontiers in Oral Physiology and Rehabilitation

オーガナイザー：山田 好秋、畝山 寿之

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

新潟大院医歯 山田 好秋

9:05～9:20

SS1-1

摂食・嚥下における味覚の生理的意義

新潟大院医歯 山田 好秋

9:20～9:45

SS1-2

食品中の呈味成分

味の素ライフサイエンス研 河合 美佐子

9:45～10:10

SS1-3

摂食調節に関わる味のシグナルと受容体特性

九大院歯 二ノ宮 裕三

10:10～10:35

SS1-4

唾液プロテオーム解析の現状と将来

味の素ライフサイエンス研 山田 尚之

10:35～10:40

休憩

10:40～11:05

SS1-5

高齢者の味覚感受性と唾液分泌

東北大院歯 佐藤 しづ子

11:05～11:30

SS1-6

うま味による嚥下調節の脳内機構

九大院医 梅崎 俊郎

11:30～11:55

SS1-7

味覚障害の臨床：5基本味診断に向けて

佐賀大医 井之口 昭

11:55～12:00

総括

味の素 畝山 寿之

3月28日（土） 9:30～11:30 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

スポンサードシンポジウムSS2

製薬協シンポジウム 糖鎖工学から抗体医薬開発まで

New Generation of Antibody Technology and Monoclonal Antibody Therapy

オーガナイザー：光島 健二、岡崎 靖

9:30～9:40

製薬協のシンポジウムを企画して

製薬協研究開発委員会専門委員長 座間 富明

9:40～10:30

SS2-1

次世代型高活性抗体技術として期待されるポテリジェント技術

協和発酵キリン 設楽 研也

10:30～11:20

SS2-2

抗体医薬の現状と将来展望

中外製薬 山崎 達美

11:20～11:30

終わりに

製薬協研究振興部 岡崎 靖

一般シンポジウム Symposia

3月26日(木) 10:00~12:00 T会場 国立京都国際会館1F アネックスホール2

一般シンポジウム S01

有機分子構築の新概念・新手法

Novel Concepts and Methodologies for Construction of Organic Molecules

オーガナイザー：赤井 周司、田村 修

10:00~10:05

オーガナイザー挨拶

静岡県立大薬 赤井 周司

10:05~10:28

S01-1

不均一系白金族触媒を利用した効率的炭素-炭素結合形成反応の開発

岐阜薬大 佐治木 弘尚

10:28~10:51

S01-2

抗インフルエンザAウイルス活性を有する(+)-スタキフリンの全合成

東北薬大 加藤 正

10:51~11:14

S01-3

有機ボロン酸の自在合成のための新反応剤・新触媒反応

京大院工 杉野目 道紀

11:14~11:37

S01-4

光学活性ジエンアセタール類の分子内ハロエーテル化反応を利用する不斉誘導法の開発とその応用

阪大院薬 藤岡 弘道

11:37~12:00

S01-5

複雑な含窒素多環状天然物の合成

千葉大院薬 西田 篤司

3月26日(木) 10:00~12:00 A会場 国立京都国際会館2F Room A

一般シンポジウム S02

プリン性化学伝達の分子基盤と創薬展開

Molecular Mechanism of Purinergic Signal Transmission and Related Drug Development

オーガナイザー：森山 芳則、加藤 総夫

10:00~10:10

S02-1

プリン性化学伝達と小胞型ヌクレオチドトランスポーター

岡山大院医歯薬 森山 芳則

10:10~10:25

S02-2

げっ歯類の小胞型ヌクレオチドトランスポーター (rVNUT)の機能と局在

岡山大院医歯薬 日浅 未来

10:25~10:45

S02-3

ATPによるアストロサイト-神経およびアストロサイト-アストロサイト相互作用

山梨大医 小泉 修一

10:45~11:00

S02-4

味細胞における小胞型ヌクレオチドトランスポーター (VNUT) の同定

味の素ライフサイエンス研 岩槻 健

11:00～11:20 S02-5	脳内シナプス前P2X受容体の意義	慈恵会医大 加藤 総夫
11:20～12:00 S02-6	プリン化学伝達の到達点と問題そして展望	九大院薬 井上 和秀

3月26日（木）10:00～12:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウム S03

健康から病気までを科学する薬学
Pharmaceutical Care from Health to Illness

オーガナイザー：吉山 友二、根岸 健一

10:00～10:30 S03-1	糖尿病の新たな治療体系の意義－耐糖能異常の「境界型」は病気でないと言えるか？－	杏林大医 石田 均
10:30～10:50 S03-2	菌性感染症の肺感染症に及ぼす影響と対策	中頭病院感染症内科 新里 敬
10:50～11:10 S03-3	納得医療：その治療、あなたにとって正しいですか？	日本医療コーディネーター協会 嵯峨崎 泰子
11:10～11:20 S03-4	後期高齢者のプライマリ・ケアにおける医薬品適正使用	北里大薬 吉山 友二
11:20～11:40 S03-5	予防薬学を志向した保険薬局からの研究発信	十仁薬局 野田 敏宏
11:40～12:00 S03-6	薬剤師のためのドーピング防止リファレンス	北大病院 笠師 久美子

3月26日（木）10:00～12:00 D会場 国立京都国際会館1F Room D

一般シンポジウム S04

若手が切り開く Molecular Toxicology 4 ～有害金属類の毒性発現と防御を担う分子標的と生体応答システム～
Molecular Toxicology Led by Young Scientists 4 ~Molecular Targets and Biological Systems Responsible for Toxic and Protective Cell Responses to Metals~

オーガナイザー：山本 千夏、角 大悟

10:00～10:05	オーガナイザー挨拶	北陸大薬 山本 千夏
10:05～10:30 S04-1	メチル水銀の部位特異的な中枢神経障害発現要因としての血管毒性	北陸大フロンティア 廣岡 孝志

10:30～10:55 S04-2	ヒ素のメチル化代謝と酸化的DNAダメージ —癌化誘導との因果関係について— NIEHS 小島 力
10:55～11:00	休憩
11:00～11:25 S04-3	カドミウムの細胞輸送における亜鉛輸送体の役割と発現調節 徳島文理大薬 藤代 瞳
11:25～11:50 S04-4	カドミウムのエリスロポエチン産生に対する影響 自治医大地域医療セ 堀口 兵剛
11:50～12:00	総括 筑波大院 角 大悟

3月26日（木）10:00～12:00 X会場 グランドプリンスホテル京都B2F ゴールドルーム

一般シンポジウム S05

分子ディスプレイとコンビバイオによる創薬への挑戦

Facing Challenges for Drug Discovery Using Molecular Display Technology and Combinatorial Bioengineering

オーガナイザー：芝崎 誠司、植田 充美

10:00～10:02	オーガナイザー挨拶 兵庫医療大薬 芝崎 誠司
10:02～10:09 S05-1	創薬プロジェクトへの新しいハイスループットシステム—分子ディスプレイとコンビバイオの集積・共役 京大院農 植田 充美
10:09～10:26 S05-2	ゼブラフィッシュによるコンビバイオ研究開発と創薬への応用 三重大院生資 田丸 浩
10:26～10:43 S05-3	モチーフ・プログラムド人工タンパク質の医療分野での応用 癌研 芝 清隆
10:43～11:00 S05-4	マイクロ抗体：立体構造規制ペプチド・ライブラリーを用いた分子標的化合物の創出 大阪府大院理 藤井 郁雄
11:00～11:17 S05-5	相互作用の熱力学情報に基づく低分子リガンド設計を目指して 東大院新領域 津本 浩平
11:17～11:34 S05-6	受容体解析に向けたバイオナノ磁性粒子上へのディスプレイ技術 東京農工大院 吉野 知子
11:34～11:51 S05-7	乳酸菌を利用したヒトパピローマウイルス（HPV）治療的ワクチンの創製 ジェノラックBL 瀬脇 智満

11:51～11:58 S05-8	分子ディスプレイによる創薬基盤技術の展開	兵庫医療大薬 芝崎 誠司
11:58～12:00	総括	兵庫医療大薬 芝崎 誠司

3月26日 (木) 10:00～12:00 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

一般シンポジウム S06

薬用植物におけるケミカルバイオロジー研究の新展開

Recent Research Developments in Chemical Biology of Medicinal Plants

オーガナイザー：阿部 郁朗、久城 哲夫

10:00～10:05	オーガナイザー挨拶	静岡県大薬 阿部 郁朗
10:05～10:25 S06-1	植物のフラボノイド・プレニルトランスフェラーゼ遺伝子の発見と利用	京大生存研 矢崎 一史
10:25～10:45 S06-2	植物におけるトポイソメラーゼI阻害剤カンプトテシンの生産と自己耐性の適応進化	千葉大院薬 山崎 真巳
10:45～11:00 S06-3	トリテルペン生合成の生物有機化学	東大院薬 久城 哲夫
11:00～11:15 S06-4	X線結晶構造解析を基盤としたIII型ポリケタイド合成酵素の機能改変	静岡県大薬 森田 洋行
11:15～11:35 S06-5	カンナビノイドの生合成に関する化学的・生物学的研究	九大院薬 森元 聡
11:35～11:55 S06-6	ベンジルイソキノリンアルカロイド生合成系の合成生物学	京大院生命 佐藤 文彦
11:55～12:00	総括	東大院薬 海老塚 豊

3月26日 (木) 15:00～17:00 T会場 国立京都国際会館1F アネックスホール2

一般シンポジウム S07

遺伝子改変マウスから見いだされたトランスポーター・チャネルの新規機能

Novel Function of Transporters and Channels Discovered during the Analysis of Genetically Modified Mice

オーガナイザー：首藤 剛、高田 龍平

15:00～15:05	オーガナイザー挨拶	熊本大院医薬 首藤 剛
-------------	-----------	-------------

15:05～15:27 S07-1	肺サーファクタント分泌に関わるABC蛋白質ABCA3	京大院医 稲垣 暢也
15:27～15:49 S07-2	コレステロールトランスポーター NPC1L1による胆汁中への蛋白分泌制御	東大病院薬 高田 龍平
15:49～16:11 S07-3	マウスとひとの融合遺伝学アプローチによる新規のトランスポーター病の同定とその分子病態の解明	理研・ゲノム医科学研究セ 池川 志郎
16:11～16:33 S07-4	細胞内Ca ²⁺ ストアにおけるTRICチャンネルの機能	京大院薬 山崎 大樹
16:33～16:55 S07-5	機能不全型CFTR発現マウスにおけるダニ誘発性掻痒および皮膚線維化の増大	熊本大院医薬 首藤 剛
16:55～17:00	総括	東大病院薬 高田 龍平

3月26日(木) 15:00～17:00 A会場 国立京都国際会館2F Room A

一般シンポジウム S08

疾患の発症に関与する新たなG蛋白質共役型受容体

New G Protein-Coupled Receptors Involved in Development of Diseases

オーガナイザー：黒瀬 等、中畑 則道

15:00～15:10 S08-1	細胞増殖とトロンボキサンA2受容体	東北大院薬 中畑 則道
15:10～15:30 S08-2	動脈硬化症とリゾリン脂質受容体	群馬大生体調節研 岡島 史和
15:30～15:50 S08-3	ロイコトリエンB4第二受容体BLT2の内因性リガンドの同定	九大院医 横溝 岳彦
15:50～16:10 S08-4	糖尿病と脂肪酸受容体ファミリー	京大院薬 平澤 明
16:10～16:30 S08-5	心疾患とカテコラミン受容体	横浜市大医 石川 義弘
16:30～16:50 S08-6	GPCR受容体によるエネルギー恒常性機構の存在	理研脳科学総合研究セ 平林 義雄
16:50～17:00 S08-7	線維化とプリン受容体	九大院薬 黒瀬 等

3月26日 (木) 15:00~17:00 B会場 国立京都国際会館2F Room B-1

一般シンポジウム S09

有機合成化学の若いカーサイエンスを切り開く、“自分流”有機化学の展開—

Synthetic Organic Chemistry: The Young Challengers

オーガナイザー：加来田 博貴

15:00~15:03	オーガナイザー挨拶	岡山大薬 加来田 博貴
15:03~15:22 S09-1	混合酸無水物中間体を經由する効率的な脱水縮合剤の開発	エーザイ 船坂 勢津雄
15:22~15:41 S09-2	オリゴアレーン型ホスフィンを用いる位置選択的クロスカップリングの開発	理研 石川 俊平
15:41~16:00 S09-3	S-5751の大量合成法の改良および製造コスト削減に向けた新規合成法の探索	塩野義製薬 光森 進
16:00~16:19 S09-4	ラジカルカスケードを基盤とする多環性アルカロイドの全合成	金沢大院薬 谷口 剛史
16:19~16:38 S09-5	官能基密集型天然物の合成研究	東大院薬 井上 将行
16:38~16:57 S09-6	超高速6 π -アザ電子環状反応を用いた生体高分子標識化法の開発とPETイメージングへの応用	阪大院理 田中 克典
16:57~17:00	総括	岡山大薬 加来田 博貴

3月26日 (木) 13:00~15:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウム S10

老化モデル動物を用いた抗老化研究へのアプローチ

Advanced Approaches to Anti-aging — Use of Aging Model Animals —

オーガナイザー：石神 昭人、萬谷 博

13:00~13:20 S10-1	klotho マウスを用いた抗老化研究	都老人研 萬谷 博
13:20~13:40 S10-2	老化促進モデルマウス SAM を用いた抗老化研究	東邦大薬 高橋 良哉
13:40~14:00 S10-3	Mn-SOD コンディショナルノックアウトマウスを用いた抗老化研究	都老人研 清水 孝彦

14:00～14:20 S10-4	加齢指標たんぱく質SMP30/GNLノックアウトマウスを用いた抗老化研究	東邦大薬 石神 昭人
14:20～14:40 S10-5	自然老化動物を用いた酸化ストレスの解析と抗老化研究	都老人研 佐々木 徹
14:40～15:00 S10-6	総括：老化モデルを用いた抗老化研究	都老人研 丸山 直記

3月26日（木）15:00～17:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウムS11

ヒト化マウスの作製と創薬

Development of Humanized Mouse and Its Application to the Drug Discovery

オーガナイザー：千葉 寛、押村 光雄

15:00～15:02	オーガナイザー挨拶	千葉大院薬 千葉 寛
15:02～15:25 S11-1	染色体工学技術を用いたヒト型モデル動物の作製と応用	鳥取大院医 香月 康宏
15:25～15:48 S11-2	ヒト抗体産生マウスによる抗体医薬品創成	協和醗酵キリン次世代創薬研 富塚 一磨
15:48～16:11 S11-3	CYP3A-HAC マウスのヒト薬物代謝予測への応用	千葉大院薬 小林 カオル
16:11～16:34 S11-4	ヒト肝細胞キメラマウスの作製とその特徴	フェニックスバイオ 立野 知世
16:34～16:57 S11-5	ヒト肝細胞を有するキメラマウスの医薬開発への利用	フェニックスバイオ 井上 多恵
16:57～17:00	総括	鳥取大院医 押村 光雄

3月26日（木）14:00～17:00 D会場 国立京都国際会館1F Room D

一般シンポジウムS12

消化管膜の多彩な機能を活かした創薬・創剤研究の最前線

Frontier Research in Drug Discovery and Delivery by Utilizing Diverse Abilities of the Intestinal Membranes

オーガナイザー：森下 真莉子、佐久間 信至

14:00～14:10	オーガナイザー挨拶	星薬大 森下 真莉子
-------------	-----------	------------

14:10～14:38 S12-1	小腸における初回通過代謝と薬物相互作用の回避ストラテジー 中外製薬 加藤 基浩
14:38～15:06 S12-2	タイトジャンクション：細胞間隙をシールする分子基盤 神戸大医院 古瀬 幹夫
15:06～15:34 S12-3	混合粉碎による医薬品のナノ微粒子化と消化管吸収性との関連 千葉大院薬 森部 久仁一
15:34～16:02 S12-4	Microsphere をもちいた腸管内免疫担当細胞を標的とした炎症性腸疾患に対する新規治療開発 京大消化器内科 仲瀬 裕志
16:02～16:30 S12-5	腸管免疫システムのユニーク性に立脚した粘膜ワクチン・免疫療法の開発 東大医科研 國澤 純
16:30～16:58 S12-6	グルコース鎖を導入した高分子複合体による小腸内吸収型トランスポーターの機能制御に基づく創薬戦略 摂南大薬 佐久間 信至
16:58～17:00	総括 摂南大薬 佐久間 信至

3月26日（木）14:30～17:00 X会場 グランドプリンスホテル京都B2F ゴールドルーム

一般シンポジウム S13

創薬基盤としての天然物化学：ものとり・ものづくり・標的探索

Natural Products-Initiated Chemistry and Chemical Biology toward Drug Discovery

オーガナイザー：供田 洋、早川 洋一

14:30～14:55 S13-1	微生物機能の探索開発とものづくりへの利用 京大院農 清水 昌
14:55～15:20 S13-2	天然物ケミカルバイオロジーに基づく創薬研究 慶応大理工 井本 正哉
15:20～15:45 S13-3	微生物の生合成機能を利用した化合物ライブラリーの作成 理研基幹研 長田 裕之
15:45～16:10 S13-4	アイソザイム選択的阻害剤の開拓 北里大院薬 供田 洋
16:10～16:35 S13-5	天然生理活性物質細胞内標的分子の組織的解明のための新戦略 理研基幹研 吉田 稔
16:35～17:00 S13-6	ポリケチド由来の多環式天然物の合成研究 東工大院理工 鈴木 啓介

3月26日(木) 14:30~17:00 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

一般シンポジウムS14

若手シンポジウム 生薬学の伝統と革新—将来像に求められるものとは？

A Heritage of Pharmacognosy and Its Innovation — What Is the Expected Frame for the Future?

オーガナイザー：伊藤 美千穂、池田 剛

14:30~14:35

趣旨説明

京大院薬 伊藤 美千穂

14:35~14:55

S14-1

薬用食品素材からの抗肥満および抗糖尿病作用シーズの探索およびその機能解明

近畿大薬総研 森川 敏生

14:55~15:15

S14-2

6年制薬学教育における生薬学の在り方について考える

昭和薬大 中根 孝久

15:15~15:35

S14-3

天然薬物成分の切り札 配糖体を極める

熊本大院医薬 池田 剛

15:35~15:55

S14-4

木を見て森も見る生薬学

京大院薬 伊藤 美千穂

15:55~16:15

S14-5

カンゾウ栽培に関する産学官共同研究

九大薬院 田中 宏幸

16:15~16:35

S14-6

総括とメッセージ

慶応大薬 竹田 忠紘

16:35~17:00

総合討論

3月27日(金) 10:00~12:00 T会場 国立京都国際会館1F アネックスホール2

一般シンポジウムS15

糖尿病及び骨粗鬆症治療薬の新規DDSの開発

Development of New Drug Delivery Systems for the Treatment of Diabetes and Osteoporosis

オーガナイザー：山本 昌、竹内 洋文

10:00~10:10

オーガナイザー趣旨説明

京都薬大 山本 昌

10:10~10:35

S15-1

カチオン性高分子を用いたインスリンの粘膜吸収促進

城西大薬 関 俊暢

10:35~11:00

S15-2

デンドリマーを用いた糖尿病及び骨粗鬆症治療薬の消化管・経肺吸収性の改善

京都薬大 山本 昌

11:00～11:25 S15-3	骨粗鬆症治療薬ビスホスホネートの新規経皮吸収型製剤の創製	京都薬大 勝見 英正
11:25～11:50 S15-4	ポリマーコーティングリポソームによるカルシトニンの経口、経肺投与	岐阜薬大 竹内 洋文
11:50～12:00	総括	岐阜薬大 竹内 洋文

3月27日（金）9:00～12:00 D会場 国立京都国際会館1F Room D

一般シンポジウムS16

医療現場に応用できる最先端分析技術

Analytical Technologies at the Forefront for Clinical Medicine

オーガナイザー：多賀 淳、小西 元美

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	近畿大薬 多賀 淳
9:05～9:38 S16-1	予防早期医療創成のための精密制御されたナノ空間を利用した分析技術	名大院工 加地 範匡
9:38～10:11 S16-2	質量分析法による生理活性物質の検出	摂南大薬 安田 明和
10:11～10:44 S16-3	超高速LC-MS/MSを用いた高分離分析法の開発	石川県警科捜研 飯尾 麗子
10:44～11:17 S16-4	LC/MSによる臨床化学へのアプローチ	近畿大薬 三田村 邦子
11:17～11:50 S16-5	病態画像分析のためのインビボ分子イメージングプローブ開発研究	京大院薬 天満 敬
11:50～12:00	総括	摂南大薬 小西 元美

3月27日（金）10:00～12:00 W会場 グランドプリンスホテル京都B2F プリンスホール

一般シンポジウムS17

トランスポーター研究のパラダイムシフト：薬物輸送体から薬物標的へ

Paradigm Shift of Transporter Research: From Drug Transport to the Target of Pharmacological/
Adverse Reaction

オーガナイザー：安西 尚彦、楠原 洋之

10:00～10:03	オーガナイザー挨拶	東大院薬 楠原 洋之
-------------	-----------	------------

10:03～10:24 S17-1	高尿酸血症と腎尿酸トランスポーター	杏林大医 安西 尚彦
10:24～10:47 S17-2	薬物依存とトランスポーター—有機カチオントランスポーターを中心として—	長崎国際大薬 北市 清幸
10:47～11:10 S17-3	白金形抗癌剤の毒性発現における有機カチオントランスポーターの役割	京大病院薬 増田 智先
11:10～11:30 S17-4	胆汁酸トランスポーター Bile Salt Export Pump (BSEP/ABCB11) のトランスポーティング、ソート異常とその校正による疾病治療	東大院薬 林 久允
11:30～11:45 S17-5	小胞型アスパラギン酸トランスポーターの発見	岡山大薬 宮地 孝明
11:45～12:00 S17-6	薬物による光毒性リスク評価: ABCG2のポルフィリン輸送とCDK inhibitorによる阻害	東工大院生命理工 田村 藍

3月27日(金) 9:00～11:00 X会場 グランドプリンスホテル京都B2F ゴールドルーム

一般シンポジウム S18

カルシウムシグナリング研究の最前線 ～電位非依存性カルシウムチャネルの様々な生理・病理機能～
Frontiers of Ca²⁺ Signaling — Physiological and Pathological Roles of Voltage-Independent Ca²⁺ Channels —

オーガナイザー：西田 基宏、竹島 浩

9:00～9:05	世話人挨拶	
9:05～9:25 S18-1	心臓の病的肥大におけるTRPCチャネルの役割	九大院薬 西田 基宏
9:25～9:50 S18-2	脳内グリア細胞におけるTRPチャネルの病態生理的役割	京大院薬 白川 久志
9:50～10:05 S18-3	侵害刺激受容に関わるTRPV1およびTRPA1の活性化、制御メカニズム	岡崎統合バイオ 富永 真琴
10:05～10:30 S18-4	小胞体Ca ²⁺ 放出の分子構築	京大院薬 竹島 浩
10:30～10:55 S18-5	受容体活性化型TRPC3チャネル選択的拮抗剤の開発及び薬理学的応用	京大院工 森 泰生
10:55～11:00	総括	

3月27日 (金) 9:00~12:20 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

一般シンポジウムS19

金属の関与する生命科学 (II) トキシコメタロミクス研究の新展開

最新分析法開発から創薬、診断、治療へのアプローチ

Metal Bioscience II Paving a Road to Toxic-Metallomics Research

R & D from Analytical Methods to Drug Discovery, Diagnosis and Therapy

オーガナイザー：高橋 和彦、姫野 誠一郎、小椋 康光、榎本 秀一

9:00~9:05

はじめに

千葉大院薬 小椋 康光

9:05~9:25

S19-1

セレン含有タンパク質の機能

北海道薬大 高橋 和彦

9:25~9:55

S19-2

含セレン蛋白質とNrf2による酸化ストレスに対する2段階防御

東北大院医 山本 雅之

9:55~10:15

S19-3

微量元素の神経毒性と老年性認知症の発症メカニズム

九州保福大薬 川原 正博

10:15~10:45

S19-4

亜鉛トランスポーターによる亜鉛ホメオスタシス制御

京大院生命 神戸 大朋

10:45~11:05

S19-5

核内受容体リガンドとしての有機金属化合物

岐阜薬大 中西 剛

11:05~11:30

S19-6

Electron Tracking Compton Camera (ETCC) を用いたメタロミクス研究への展開

京大院薬 木村 寛之

11:30~11:55

S19-7

オミックス研究を支援するプラズマ分光分析用高効率微量試料導入系の開発

産総研 稲垣 和三

11:55~12:20

S19-8

トキシコメタロミクス研究における新しい微量元素分析装置 (ECRIS-MS) の役割と可能性について

理研和光 木寺 正憲

3月27日 (金) 15:00~17:00 S会場 国立京都国際会館1F メインホール

一般シンポジウムS20

産と学、最近の創薬研究

Medicinal Chemistry TODAY — Progress in Industry and Academia —

オーガナイザー：夏莉 英昭、橋本 祐一

15:00~15:05

オーガナイザー挨拶

15:05～15:28 S20-1	選択的 SSTR2 アゴニスト活性を有する新規テトラヒドロキノリン誘導体の構造活性 相関と合成	武田薬品工業 阿部 秀範
15:28～15:51 S20-2	下痢型 IBS 治療薬の創製を目指した 5-HT ₃ 受容体部分作動薬の創薬研究	明治製菓 吉田 諭
15:51～16:14 S20-3	新規 OA 治療薬を目指した HA-MTX conjugate (DK226) の創製	中外製薬 佐藤 晴彦
16:14～16:37 S20-4	SBDD による新規抗癌剤シーズの開発研究	北大院薬 市川 聡
16:37～17:00 S20-5	末梢選択的新規アンドロゲン受容体拮抗剤の合成研究	アステラス製薬 木野山 功

3月27日（金）15:00～17:00 T会場 国立京都国際会館1F アネックスホール2

一般シンポジウム S21

薬学教育とレギュラトリーサイエンス

Pharmaceutical Education and Regulatory Science

オーガナイザー：小林 利彦、古澤 康秀

15:00～15:15 S21-1	研究開発業務関係者育成の立場から	京大院薬 藤井 信孝
15:15～15:30 S21-2	臨床開発業務関係者育成の立場から	明治薬大 渡邊 誠
15:30～15:45 S21-3	レギュラトリーサイエンス教育に期待すること（行政担当者の立場から）	厚生労働省 中垣 俊郎
15:45～16:00 S21-4	レギュラトリーサイエンス教育に期待することー承認審査の立場からー	医薬品医療機器総合機構 鹿野 真弓
16:00～16:15 S21-5	製薬業界の国際化において求められる人材の育成について	米国メルク 吉川 直樹
16:15～16:30 S21-6	レギュラトリーサイエンス教育に期待することー製薬企業の立場からー	武田薬品工業 桑原 雅明
16:30～17:00	総合討論	

3月27日（金） 15:00～17:00 A会場 国立京都国際会館2F Room A

一般シンポジウム S22

アミロイド β ペプチドの凝集・毒性発現の分子メカニズムの解明と低分子化合物による阻害：アルツハイマー病の克服に向けて

Elucidation of Molecular Mechanism Underlying Amyloid-Beta Peptide Aggregation and Its Neurotoxicity Expression and Inhibition of the Biochemical Processes by Beneficial Synthetic and Natural Compounds with Low-Molecular Weights — New Approaches to Fundamental Treatment and Prevention of Alzheimer's Disease —

オーガナイザー：三浦 隆史、山國 徹

15:00～15:05

オーガナイザーの挨拶

東北大院薬 山國 徹
東北大院薬 三浦 隆史

15:05～15:25

S22-1

脂質膜と金属イオンによるアミロイド β ペプチドのコンホメーション制御

東北大院薬 三浦 隆史

15:25～15:45

S22-2

アミロイド線維形成の重合核依存性重合モデルと線維形成阻害薬の探索

福井大医 内木 宏延

15:45～16:10

S22-3

ガングリオシドクラスターを介したアミロイド β ペプチドの凝集・毒性発現のメカニズムとその阻害

京大院薬 松崎 勝巳

16:10～16:30

S22-4

陳皮の抗認知症成分ノビレチンによるアミロイド β ペプチド (Abeta) の神経毒性発現抑制と Abeta 誘発性記憶障害改善

東北大院薬 山國 徹

16:30～16:55

S22-5

ベータアミロイド仮説に基づくアルツハイマー病治療薬の研究開発

京大院薬 杉本 八郎

16:55～17:00

総括

3月27日（金） 14:00～17:00 B会場 国立京都国際会館2F Room B-1

一般シンポジウム S23

市民に信頼される薬学研究と医療 — 情報社会における新しい倫理とは —

Pharmaceutical Research and Medical Treatment Trusted by the Citizens — What are New Ethics in the Information Society? —

オーガナイザー：遠藤 浩良、小河 邦雄

14:00～14:05

オーガナイザー挨拶

日本薬学図書館協議会 遠藤 浩良

14:05～14:35

S23-1

薬学研究と発表倫理

愛知淑徳大 山崎 茂明

14:35～15:05 S23-2	医学と利益相反—近年のアメリカ法の動向—	日本学術振興会	三瀬 朋子
15:05～15:35 S23-3	薬学教育の立場から	京大院薬	矢野 義孝
15:35～16:05 S23-4	医薬品等の承認審査の観点から	医薬品医療機器総合機構	赤川 治郎
16:05～16:35 S23-5	作家の視点から	東北大機械系	瀬名 秀明
16:35～17:00	パネルディスカッション		

3月27日（金）13:00～15:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウム S24

新しい細胞培養システムの開発とその創薬支援研究への応用

Development of Novel Cell Culture Systems and Their Application to Pharmaceutical Research

オーガナイザー：谷口 彰良、竹澤 俊明

13:00～13:24 S24-1	ナノバイオ技術を用いた新規培養システムの開発	物質・材料研究機構	谷口 彰良
13:24～13:48 S24-2	肝細胞機能制御を目的とした新規培養システムの開発	阪大院薬	八木 清仁
13:48～14:12 S24-3	オンチップ・セロミクス技術を用いた細胞ネットワーク創薬支援	東京医科歯科大生材研	安田 賢二
14:12～14:36 S24-4	細胞工学技術とバイオセンシング技術とによるHTA開発	九工大	春山 哲也
14:36～15:00 S24-5	コラーゲンビトリゲル薄膜の特徴を活用した新しい細胞培養システムの開発	農業生物資源研	竹澤 俊明

3月27日（金）15:00～17:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウム S25

常在微生物の解析とその制御による疾患の克服

Molecular Analysis of the Human Microbiota and the Treatment of Disease through Its Control

オーガナイザー：河村 好章、杉田 隆

15:00～15:05	オーガナイザー挨拶	愛知学院大薬	河村 好章
15:05～15:25 S25-1	口腔細菌と歯周病—微生物叢の解析方法の現状とその適応範囲を踏まえて	愛知学院大薬	河村 好章

15:25～15:45 S25-2	腸内細菌と潰瘍性大腸炎	岐阜薬大 森 裕志
15:45～16:05 S25-3	腸内菌叢と難治性成人型アトピー性皮膚炎	協同乳業研究所 松本 光晴
16:05～16:25 S25-4	皮膚常在微生物とアトピー性皮膚炎	明治薬大 杉田 隆
16:25～16:45 S25-5	プロバイオティクスの科学的エビデンスの構築—基礎と臨床研究の統合—	慶応大薬 清水 美貴子
16:45～17:00	総括および総合討論	

3月27日（金）14:00～17:00 D会場 国立京都国際会館1F Room D

一般シンポジウム S26

金属による生体制御のニューフロンティア
New Frontier of Metal-Induced Bio-Control

オーガナイザー：桜井 弘

14:00～14:05	挨拶	鈴鹿医療大薬 桜井 弘
14:05～14:30 S26-1	次世代白金制癌剤の開発研究	鈴鹿医療大薬 米田 誠治
14:30～14:55 S26-2	糖尿病作用を持つ金属—アリキシン錯体の分子作用機序と生体金属の代謝イメージング	理研 分子イメージング 廣村 信
14:55～15:20 S26-3	亜鉛による海馬長期増強のユニークな調節	静岡県大薬 武田 厚司
15:20～15:30	休憩	
15:30～15:55 S26-4	神経再生治療におけるバナジル化合物の応用	東北大院薬 福永 浩司
15:55～16:20 S26-5	急性前骨髄球性白血病(APL)治療における三酸化ヒ素の代謝と挙動	東京薬大生命 貝瀬 利一
16:20～16:45 S26-6	ウィルソン病治療における酢酸亜鉛製剤の有用性—治療効果と銅および亜鉛の体内動態との関連—	ノーベルファーマ 下川 正孝
16:45～17:00	総合討論	

3月27日（金） 13:00～15:00 X会場 グランドプリンスホテル京都B2F ゴールドルーム

一般シンポジウム S27
イオンポンプ研究の最前線
Frontier of Ion Pump Research

オーガナイザー：森井 孫俊、酒井 秀紀

13:00～13:05

オーガナイザー挨拶

富山大院薬 酒井 秀紀

13:05～13:26

S27-1

Ca²⁺ ポンプの分子作動機構：部位特異的変異およびリン酸化中間体アナログの開発と構造解析による理解

旭川医大 鈴木 裕

13:26～13:47

S27-2

ナトリウムポンプの構造と機能

東京医歯大院保衛 原 諭吉

13:47～14:08

S27-3

H⁺輸送性ATP合成酵素研究の薬学的新展開

岩手医大薬 前田 正知

14:08～14:29

S27-4

ミトコンドリア内膜のADP/ATP透過担体のC末端領域の構造特性と機能

徳島大ゲノム 篠原 康雄

14:29～14:50

S27-5

極低温電子顕微鏡によって明かされた胃H⁺,K⁺-ATPaseの逆反応防止機構

京大院理・生物物理 阿部 一啓

14:50～15:00

総括

鈴鹿医療科学大薬 森井 孫俊

3月27日（金） 15:00～17:00 X会場 グランドプリンスホテル京都B2F ゴールドルーム

一般シンポジウム S28
血管弛緩機構の異常に基づく疾患と薬物作用
Mechanisms on the Endothelial Dysfunction and Drug Therapy

オーガナイザー：岡本 博、鎌田 勝雄

15:00～15:05

オーガナイザー挨拶

星薬大医薬研 鎌田 勝雄

15:05～15:25

S28-1

NO合成酵素由来スーパーオキシドと血管障害

大阪府済生会中津病院 川嶋 成乃亮

15:25～15:45

S28-2

血管内皮細胞のインスリンシグナル障害は骨格筋インスリン抵抗性を引き起こす

東大院医 窪田 直人

15:45～16:00

S28-3

糖尿病性細小血管障害の治療戦略としての内皮由来過分極因子の重要性

星薬大医薬研 松本 貴之

16:00～16:20 S28-4	硝酸薬耐性と内皮機能障害	名市大院医 伊藤 猛雄
16:20～16:40 S28-5	敗血症性ショックと内皮由来および誘発性NO合成酵素:スタチンによる治療効果との関連	富山大院医 服部 裕一
16:40～16:55 S28-6	アンジオテンシンII-2型受容体を介した血管弛緩機構におけるブラジキニンの重要性	神戸学院大薬 屋山 勝俊
16:55～17:00	総括	

3月27日(金) 13:00～15:00 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

一般シンポジウム S29

Fragment-Based Lead Discoveryの原理と実際
Principle and Practice of Fragment-Based Lead Discovery

オーガナイザー: 古谷 利夫、山野 昭人

13:00～13:25 S29-1	Fragment-Based Drug Discovery: その概念と狙い	大日本住友製薬 田中 大輔
13:25～13:50 S29-2	FBDDのためのNMRスクリーニング	第一三共 半沢 宏之
13:50～14:15 S29-3	X線によるFBS	ファルマアクセス 山野 昭人
14:15～14:40 S29-4	NMR/SPRによる化合物スクリーニングの実際	中外製薬 三浦 隆昭
14:40～15:00 S29-5	FBDDにおけるインシリコ手法	ファルマデザイン 高橋 理

3月27日(金) 15:00～17:00 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

一般シンポジウム S30

創薬を目指す量子ビーム施設—放射光と中性子の有効利用—
Quantum Beam Facilities Aim at Drug Discovery — Effective Use for Synchrotron Radiation and Neutron —

オーガナイザー: 西島 和三、清谷 多美子

15:00～15:05	オーガナイザー挨拶	持田製薬 西島 和三
-------------	-----------	------------

15:05～15:15	量子ビーム施設の概況	昭和薬大 清谷 多美子
15:15～15:35 S30-1	ターゲットタンパク研究プログラムで目指す X線構造解析の高度化	高エネルギー加速器研究機構 若槻 壮市
15:35～15:55 S30-2	放射光マイクロビームが可能にするタンパク質微小結晶解析	理研SPring-8センター 山本 雅貴
15:55～16:15 S30-3	SPring-8構造生物ビームライン	高輝度光科学研究セ 熊坂 崇
16:15～16:35 S30-4	中性子と放射光の相補的な利用による創薬標的タンパク質の立体構造解析	日本原子力研究開発機構 黒木 良太
16:35～16:55 S30-5	供用開始に際したJ-PARCの新しい生物用中性子回折装置 (iBIX)	茨城大工 田中 伊知朗
16:55～17:00	オーガナイザー挨拶	昭和薬大 清谷 多美子

3月28日 (土) 10:00～12:00 S会場 国立京都国際会館1F メインホール

一般シンポジウムS31

激変する医療環境と薬剤業務の革新

Innovation of Pharmaceutical Practice Accompanied by Rapid Changes in Health Care Surroundings

オーガナイザー：北田 光一、林 昌洋

10:00～10:05	オーガナイザー挨拶	千葉大病院薬 北田 光一 虎の門病院薬 林 昌洋
10:05～10:25 S31-1	医療環境の変化と薬剤師に期待する役割	厚労省保険局 磯部 総一郎
10:25～10:45 S31-2	顔の見える薬剤師～中小病院での業務革新	蘇生会総合病院薬 甲斐 純子
10:45～11:05 S31-3	スキルミックス医療における薬剤師実務と臨床薬学研究	虎の門病院薬 林 昌洋
11:05～11:25 S31-4	今、大学病院薬剤部に求められるもの	京大病院薬 乾 賢一
11:25～12:00	総合討論	

3月28日(土) 10:00~12:00 A会場 国立京都国際会館2F Room A

一般シンポジウム S32

薬学における生命志向型化学(化学のツールで解き明かす生体機能)

Chemical Biology for Pharmaceutical Science (New Chemical Tools to Explore Biological Functions)

オーガナイザー: 王子田 彰夫

10:00~10:03

オーガナイザー挨拶

京大院工 王子田 彰夫

10:03~10:26

S32-1

新規タグプローブ蛍光ラベル法で見る膜受容体の生細胞での挙動

京大院薬 矢野 義明

10:26~10:49

S32-2

生きた動物体内の低分子化合物を検出するデグラトンプローブ

筑波大院人総 三輪 佳宏

10:49~11:12

S32-3

糖修飾による新規持続性GLP-1アナログの創製

塩野義製薬 花崎 浩二

11:12~11:35

S32-4

オープンサンドイッチ原理を利用した免疫測定法と抗体作製法への応用

富士フイルム・ライフサイエンス研 川上 雅之

11:35~11:58

S32-5

光で制御するNOおよびHNOドナー化合物

名市大院薬 中川 秀彦

11:58~12:00

総括

京大院薬 高須 清誠

3月28日(土) 9:00~12:00 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウム S33

C型肝炎治療法開発の最前線と今後の展開

Cutting-Edge Research on Hepatitis C Treatment and the Clinical Perspectives

オーガナイザー: 八木 清仁、林 利光

9:00~9:05

オーガナイザー挨拶

阪大院薬 八木 清仁

9:05~9:35

S33-1

C型肝炎に対する抗ウイルス治療の現況と今後の展開

阪大院医・消化器内科 竹原 徹郎

9:35~10:05

S33-2

C型肝炎ウイルス培養系と抗ウイルス薬開発

国立感染症研・ウイルス第二部 脇田 隆字

10:05~10:35

S33-3

SPT阻害剤によるC型肝炎ウイルス(HCV)複製阻害機序の解析

東京都臨床研 小原 道法

10:35～11:00 S33-4	医薬品のウイルス安全性確保：NATによるC型肝炎ウイルス検出の評価とNATによる高感度検出のためのウイルス濃縮法	国立衛研 内田 恵理子
11:00～11:25 S33-5	ウイルス侵入過程を標的とする薬用植物由来抗HCVリード化合物の探索	阪大院薬 村上 啓寿
11:25～11:50 S33-6	天然物のウイルス感染症に対する有用性の評価と応用	富山大院薬 林 京子
11:50～12:00	総括	富山大院薬 林 利光

3月28日（土）9:00～12:00 D会場 国立京都国際会館1F Room D

一般シンポジウム S34

食品の安全・安心を問う！

Symposium on Food Safety and Reliability in Japan

オーガナイザー：岡 尚男、鈴木 俊也

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	金城学院大薬 岡 尚男
9:05～9:40 S34-1	冷凍餃子事件など食の安全に対する問題について	東海コープ事業連合商品安全検査セ 斎藤 勲
9:40～10:15 S34-2	輸入食品の有害化学物質汚染—毒性研究者の立場から	昭和大薬 吉田 武美
10:15～10:50 S34-3	検疫所における輸入食品の安全性確保について～検査を中心に～	横浜検疫所 右京 政補
10:50～11:25 S34-4	生協としての食品の安全・安心の取り組み	日本生活協同組合連合会 内堀 伸健
11:25～12:00 S34-5	食品製造者としての食品の安全・安心への取り組み	味の素冷凍食品 後藤 正明

3月28日（土）9:00～12:00 E会場 国立京都国際会館GF Room E

一般シンポジウム S35

臨床センスが要求される救急医療薬学

The Pharmaceutical Science in Acute Care that Requires Clinical Sense

オーガナイザー：大井 一弥、高村 徳人

9:00～9:10	シンポジウム趣旨説明	鈴鹿医療大薬 大井 一弥
-----------	------------	--------------

9:10～9:35 S35-1	救急医療と災害医療における薬剤師の関与	熊本赤十字病院薬 合澤 啓二
9:35～10:00 S35-2	CPR（心肺蘇生）現場における薬剤師の役割	第二岡本総合病院薬 瓦 比呂子
10:00～10:30 S35-3	クラッシュシンドロームの治療法確立に関する基礎的研究	城西大薬 村田 勇
10:30～11:00 S35-4	薬学生の臨床能力向上を目指した救急救命実習	九州保福大薬 高村 徳人
11:00～11:30 S35-5	救急医療における薬剤師の可能性	三重大院医 武田 多一
11:30～12:00	総合討論	

3月28日（土）14:00～16:55 S会場 国立京都国際会館1F メインホール

一般シンポジウム S36

医薬プロセス化学のインパクト

Impact of Pharmaceutical Process Chemistry

オーガナイザー：畑中 保丸、藤堂 洋三、塩入 孝之

14:00～14:05	オーガナイザー挨拶	富山大薬 畑中 保丸
14:05～14:45 S36-1	原薬の製造プロセス研究における留意点	富山化学工業総合研 藤堂 洋三
14:45～15:25 S36-2	α -アミノ酸不斉合成のための新しい汎用合成ツール	カネカ 満田 勝
15:25～15:30	休憩	
15:30～16:10 S36-3	融合タンパク法によるペプチド医薬の量産技術開発	アスピオファーマ 藪田 雅之
16:10～16:50 S36-4	5型PDE阻害薬KF31327のプロセス開発研究	協和発酵キリン 衣川 雅彦
16:50～16:55	総括	富山化学工業総合研 藤堂 洋三

3月28日(土) 14:00~17:00 T会場 国立京都国際会館1F アネックスホール2

一般シンポジウム S37

脂肪酸の代謝と機能制御

Metabolism and Function of Fatty Acids

オーガナイザー：有田 誠、杉本 幸彦

14:00~14:05

オーガナイザー挨拶

14:05~14:30

S37-1

分泌型ホスホリパーゼ A2 の多様性と病態

東京都臨床医学総合研 村上 誠

14:30~14:55

S37-2

メタボリックシンドロームにおける脂肪酸組成コントロールの重要性と長鎖脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の働き

筑波大院人間総合科学 松坂 賢

14:55~15:20

S37-3

「TLR4 の内因性リガンド」としての飽和脂肪酸

東京医科歯科大難治疾患研 小川 佳宏

15:20~15:30

休憩

15:30~15:55

S37-4

脂肪細胞の分化と成熟におけるプロスタノイドの役割

京大院薬 杉本 幸彦

15:55~16:20

S37-5

J2 型プロスタグランジンのリガンド機能

名大院生命農学 内田 浩二

16:20~16:45

S37-6

ω 3 系脂肪酸と炎症のメタボロミクス

東大院薬 有田 誠

16:45~17:00

総括

3月28日(土) 15:00~17:00 A会場 国立京都国際会館2F Room A

一般シンポジウム S38

薬剤師の未来像

The Pharmacist in the Future

オーガナイザー：山本 信夫、土屋 文人

15:00~15:05

オーガナイザー挨拶

保生堂薬局 山本 信夫
東京医歯大病院薬 土屋 文人

15:05～15:45 S38-1	基調講演「薬剤師の将来ビジョンについて」	日本薬剤師会 児玉 孝
15:45～16:05 S38-2	国民が薬剤師に求めるもの	厚労省医薬食品局 関野 秀人
16:05～16:25 S38-3	社会は薬剤師に何を求めているのか	慶応大薬 望月 真弓
16:25～17:00	総合討論	

3月28日（土）14:00～17:00 B会場 国立京都国際会館2F Room B-1

一般シンポジウム S39

第5回 若手が拓く新しい薬剤学：薬物による毒性とその回避への挑戦

Frontier Pharmaceuticals to Be Explored by Young Scientists: Drug Toxicity and Challenges to Its Avoidance

オーガナイザー：紙谷 浩之、楠原 洋之

14:00～14:05	オーガナイザー挨拶	北大院薬 紙谷 浩之
14:05～14:50 S39-1	肝障害性薬剤による初期遺伝子発現応答のPercellome解析	国立衛研 菅野 純
14:50～15:15 S39-2	医薬品の中枢応答性と血液脳関門における異物排泄	東大院薬 楠原 洋之
15:15～15:40 S39-3	トランスポーターの関与する薬物間相互作用	千葉大院薬 設楽 悦久
15:40～15:45	休憩	
15:45～16:10 S39-4	薬物応答性核内受容体と医薬品副作用	東北大院薬 吉成 浩一
16:10～16:35 S39-5	分子時計による薬物代謝・排泄の日周リズム制御機構	九大院薬 小柳 悟
16:35～17:00 S39-6	体内動態制御と細胞内動態制御による低毒性DDSキャリア構築へのアプローチ	北大院薬 秋田 英万

3月28日(土) 14:00~16:30 C会場 国立京都国際会館1F スワン

一般シンポジウム S40

創薬をめざした機能性天然分子の探索と開発 —ケミカルバイオロジー研究の最前線—
Discovery and Development of Bioactive Natural Products for Drug Exporing —Frontier of Chemical
Biology Researches—

オーガナイザー：小林 淳一、久保田 高明

14:00~14:05

オーガナイザー挨拶

北大院薬 小林 淳一

14:05~14:30

S40-1

生理活性分子の標的同定

京大化研 上杉 志成

14:30~14:55

S40-2

感染部位環境に着目した評価系からの抗結核物質の探索とその標的分子の解明

阪大院薬 荒井 雅吉

14:55~15:20

S40-3

天然物を出発点とする生物活性分子の創製

理研 袖岡 幹子

15:20~15:35

休憩

15:35~16:00

S40-4

天然薬物の生合成工学

静岡県大薬 阿部 郁朗

16:00~16:25

S40-5

システムケモセラピー：多因子疾患克服に向けたMedChemからのアプローチ

京大院薬 藤井 信孝

16:25~16:30

総括

北大院薬 小林 淳一

3月28日(土) 14:00~17:00 D会場 国立京都国際会館1F Room D

一般シンポジウム S41

気候変動対策の課題と薬学研究の貢献
Problems of How to Take Measures against Climate Change and Contribution of Pharmaceutical
Science to the Solution

オーガナイザー：青木 康展、井出 速雄

14:00~14:10

イントロダクション

国立環境研 青木 康展

14:10~14:40

S41-1

低炭素社会の科学的根拠

国立環境研 西岡 秀三

14:40～15:10 S41-2	低炭素社会を実現する革新的な環境エネルギー技術戦略	内閣府 原沢 英夫
15:10～15:40 S41-3	地球温暖化と全球規模での水問題	東大生産技術研 鼎 信次郎
15:40～16:10 S41-4	気候変動と感染症	国立感染症研 倉根 一郎
16:10～16:40 S41-5	東アジアの大気環境問題と対策	金沢大院薬 早川 和一
16:40～17:00	総合討論	

3月28日（土）14:00～17:00 E会場 国立京都国際会館GF Room E

一般シンポジウム S42

大規模副作用症例データベースを用いた医薬品安全性情報の解析

Analysis of Drug Safety Information Using Large-Scale Adverse Event Reporting Database

オーガナイザー：森川 馨、田崎 武信

14:00～14:05	シンポジウム概要説明	国立医薬品食品衛生研 森川 馨
14:05～14:35 S42-1	副作用回避を考慮した精神科薬物療法の提案	清和会吉南病院 長嶺 敬彦
14:35～15:00 S42-2	大規模副作用症例データベース AERS を用いた医薬品安全性情報の解析	国立医薬品食品衛生研 森川 馨
15:00～15:20 S42-3	海外規制機関からの医薬品安全性情報	国立医薬品食品衛生研 天沼 喜美子
15:20～15:45 S42-4	Risk Management Plan in the US and Europe	Eisai Co Ltd Stewart GEARY
15:45～16:10 S42-5	医薬品の安全性の評価で想像力を活かすために	塩野義製薬 田崎 武信
16:10～16:35 S42-6	科学的根拠に基づく安全対策を目指して	厚生労働省 森 和彦
16:35～17:00 S42-7	PMDA 副作用報告データベースを用いた医薬品安全対策	医薬品医療機器総合機構 岸 達生

3月28日（土）14:00～16:40 Y会場 グランドプリンスホテル京都1F ロイヤルルーム

一般シンポジウム S43

薬学教育改革：未知の領域へ向けて

Reform of Pharmacy Education: Toward the Field without Experience

オーガナイザー：入江 徹美、中村 明弘

14:00～14:05	趣旨説明	熊本大院薬 入江 徹美
14:05～14:15 S43-1	薬学共用試験：本実施に向けた準備状況	阪大院薬 山元 弘
14:15～14:35 S43-2	CBT問題作成および実施ソフトウェアの現状と課題	昭和大薬 伊藤 喬 東京理科大薬 宮崎 智
14:35～15:00 S43-3	OSCE トライアル実施状況および今後の課題	福山大薬 吉富 博則 昭和大薬 木内 祐二
15:00～15:15 S43-4	薬学共用試験本実施に向けた今後の方針	静岡県立大薬 奥 直人
15:15～15:30	質疑応答（薬学共用試験関連）	熊本大院薬 入江 徹美
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:00 S43-5	第三者評価実施に向けた取り組みー自己評価21を中心にー	広島大院医歯薬 小澤 光一郎
16:00～16:20 S43-6	新たな薬剤師国家試験の考え方と出題基準	武庫川女大薬 市川 厚
16:20～16:40	総合討論	昭和大薬 中村 明弘

大学院生シンポジウム Graduate Symposia

3月26日（木）10:00～12:00 E会場 国立京都国際会館GF Room E

大学院生シンポジウムGS1

多分野で応用される新規DDS技術

Forefront of Drug Delivery System Research: Novel Technologies Used in Various Field

オーガナイザー：畑中 剣太郎、亀井 敬泰

10:00～10:05

趣旨説明

静岡県大院薬 畑中 剣太郎

10:05～10:25

GS1-1

トランスポゾンに基づく持続発現型新規プラスミドベクターの開発

京大院薬 中西 秀之

10:25～10:45

GS1-2

PEG修飾ナノキャリアー類回投与によるABC現象の機構解明

静岡県大院薬 小出 裕之

10:45～11:05

GS1-3

中性子捕捉療法のためのホウ素デリバリーシステムの開発

学習院大理 上野 学

11:05～11:25

GS1-4

金ナノロッドを用いたがんのフォトサーマル治療

九大院工 大賀 晃

11:25～11:45

GS1-5

薬物の皮膚透過性と経皮吸収型製剤：角層バリアー克服の歴史

城西大院薬 杉野 雅浩

11:45～12:00

GS1-6

機能性ペプチドによるバイオ薬物の消化管吸収改善とそのメカニズムの検討

星薬大 亀井 敬泰

3月26日（木）14:00～15:30 E会場 国立京都国際会館GF Room E

大学院生シンポジウムGS2

環境汚染物質の毒性メカニズム

The Molecular Mechanism of Toxicities of Environmental Pollutants

オーガナイザー：阪田 佳紀、宮山 貴光、李 辰竜

14:00～14:15

GS2-1

銅シャペロンAtox1、メタロチオネイン欠損細胞における銅結合タンパク質のクロス
トーク機構

千葉大院薬 宮山 貴光

14:15～14:30

GS2-2

塩化コバルトによる肝障害抑制機構

徳島文理大薬 中島 可南子

14:30～14:45 GS2-3	メチル水銀毒性増強作用におけるピルビン酸の関与	東北大院薬 李 辰竜
14:45～15:00 GS2-4	親電子性環境化学物質 1,2-ナフトキノンの毒性発現における Nrf2/Keap1 システムの役割	筑波大院人間総合科学 三浦 高
15:00～15:15 GS2-5	ダイオキシンによるアミノレブリン酸合成酵素 (ALAS) の誘導がもたらす糖代謝系への影響	東大院医 阪田 佳紀
15:15～15:30 GS2-6	トリクロロエチレン飲水曝露によるT細胞増殖亢進メカニズムに関する研究	岐阜薬大 小林 亮

3月26日 (木) 15:30～17:00 E会場 国立京都国際会館GF Room E

大学院生シンポジウム GS3

生体機能の制御を目指した基盤技術の開発と次世代型創薬への展開

Development of a Technology Platform for Novel Drug Discovery Aimed at Regulating Biological Function

オーガナイザー：野村 鉄也、萱室 裕之

15:30～15:32	オーバービュー	基盤研 萱室 裕之
15:32～15:49 GS3-1	マルチ亜鉛フィンガー型人工転写因子の創製と機能	京大化研 森崎 達也
15:49～16:06 GS3-2	タンデムFc化による抗体のADCC活性増強	東京理大薬 長島 弘明
16:06～16:23 GS3-3	活性増強型TNF変異体の粘膜ワクチンアジュバントへの応用	基盤研 萱室 裕之
16:23～16:40 GS3-4	癌特異的CD98 アミノ酸トランスポーター軽鎖に対するキメラ抗体の調製	近畿大薬 須田 健太郎
16:40～16:57 GS3-5	I型TNF受容体選択的アンタゴニストの創出とその自己免疫疾患治療薬としての可能性	阪大院薬 野村 鉄也
16:57～17:00	総括	阪大院薬 野村 鉄也

3月27日 (金) 9:00~11:00 E会場 国立京都国際会館GF Room E

大学院生シンポジウム GS4

明日を拓く有機反応開発—創薬を目指す有機系大学院生シンポジウム—
Discovery of New Reactions: Breakthrough towards the Future

オーガナイザー：HAO Xinyu、上崎 春陽、助本 智史、馬 俊

9:00~9:03

オーガナイザー挨拶

京大院薬 HAO Xinyu

9:03~9:22

GS4-1

二核ロジウム(II)カルボキシラート錯体を用いた不斉アミノ化反応：生物活性含窒素化合物の触媒的不斉合成

北大院薬 田中 正彦

9:22~9:41

GS4-2

銅触媒を用いた連続三成分結合形成反応による2-(アミノメチル)インドール骨格およびインドール縮環型多環式骨格構築法の開発

京大院薬 太田 悠介

9:41~10:00

GS4-3

ビス(π -アリル)パラジウムの触媒的二酸化炭素カルボキシル化反応

東北大院薬 諏訪 勝紀

10:00~10:19

GS4-4

RNAの部位特異的化学修飾を可能にする官能基転移反応

九大院薬 鬼塚 和光

10:19~10:38

GS4-5

ラジカル中間体を經由する不斉相間移動触媒反応：反応機構の解明と応用

昭和大薬 佐野 大祐

10:38~10:57

GS4-6

Pd/Cを触媒とする環境負荷低減型Sonogashira反応の開発

岐阜薬大 森 重樹

10:57~11:00

総括

京大院薬 上崎 春陽

3月27日 (金) 14:00~15:40 E会場 国立京都国際会館GF Room E

大学院生シンポジウム GS5

エポックメイキングな薬学を目指して：基礎と臨床の架橋となる生命科学

Going toward the New Generation of Pharmaceutical Sciences: Bridging Research between Basic and Clinical Pharmaceutics

オーガナイザー：原田 慎一、原 一樹

14:00~14:05

オーガナイザー挨拶ならびに主旨説明

福岡大薬 原 一樹

14:05~14:20

GS5-1

GIRKチャネル阻害作用をもつ薬物は新規抗うつ作用をもつか？

熊本大院薬 川浦 一晃

14:20～14:35 GS5-2	<i>Morinda citrifolia</i> による脳虚血性神経障害抑制作用における血糖値制御の関与 神戸学院大薬 原田 慎一
14:35～14:50 GS5-3	コーヒー飲用による糖代謝および炎症マーカーの改善に関する臨床研究 九大院薬 岡田 知子
14:50～15:05 GS5-4	ドネペジルによるマウス中隔野アセチルコリン神経保護作用 東北大院薬 山本 由似
15:05～15:20 GS5-5	腸間膜動脈抵抗血管の内皮細胞による血管緊張調節の特性 岡山大薬 金 シン
15:20～15:35 GS5-6	超分子[2]Rotaxane による抗腫瘍効果と特徴ある作用様式 福岡大薬 牧尾 圭悟
15:35～15:40	総括 神戸学院大薬 原田 慎一

3月27日（金）15:40～17:00 E会場 国立京都国際会館GF Room E

大学院生シンポジウム GS6

ポストゲノム新時代の創薬基盤技術開発研究 —創薬バイオマーカーの探索研究を例に—
Forefront Researches of Drug Innovation Technology in the Post-Genomic Era
—Studies of Biomarker Discovery for Drug Development—

オーガナイザー：鍋師 裕美、長野 一也

15:40～15:45	オーガナイザー挨拶 基盤研 鍋師 裕美
15:45～16:03 GS6-1	トキシコキネティクス/トキシコプロテオミクスによるナノマテリアルの生物学的影響評価 基盤研 鍋師 裕美
16:03～16:21 GS6-2	EGF 受容体下流のプロテオミクスより同定した新規タンパク質の解析とバイオマーカーへの応用の可能性 静岡県大院薬 田代 京子
16:21～16:39 GS6-3	抗体プロテオミクスによる腫瘍組織血管バイオマーカー探索とその抗体の創製 帝京大院薬 山下 琢矢
16:39～16:57 GS6-4	疾患プロテオミクスからバイオマーカーの創出へ —抗体プロテオミクス技術の確立とがん関連マーカーの探索— 阪大院薬 長野 一也
16:57～17:00	総括 阪大院薬 長野 一也

